

決意新たに

社会の一員として自覚と責任を持つ

52人が大人の仲間入り
20歳



大人の仲間入りを祝う成人式を8月15日、町文化センターで行いました。今回成人を迎えたのは、昭和59年4月2日から昭和60年

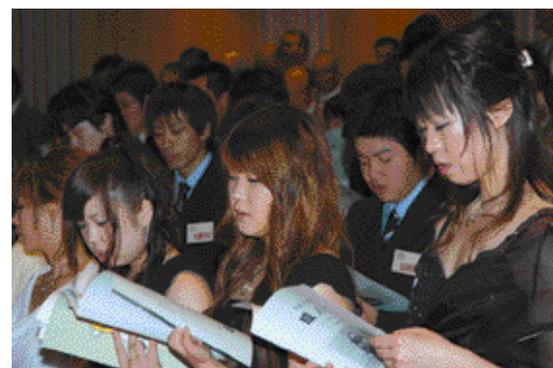
4月1日までに生まれた52人。そのうち33人が出席しました。式では、梅林町長が「21世紀を支えていくのは、本日成人を迎えた皆さんたちです。

自覚と責任を持って、今後の人生を歩んでほしい」と激励。中学時代の恩師黒見隆久さん（現日南中教諭）は、卒業文集など紹介しながら当時を振

り返り「いろいろな分野で自分のやりたいことを見つけてがんばってください」と教えました。新成人を代表して、杉本亮

さん（根雨）、長谷川友香さん（舟場）、窪田集さん（根雨）の3人が決意を述べました。なかでも長谷川さんは「自然豊かで人情あふれる私の大好きな日野町。このまちで生まれ育ったことを誇りに思い、責任と自覚を持った社会の一員として、胸を張れるようにがんばりたいです」とあいさつしました。

式後には、山村開発センターで懇親会が開かれ、恩師を囲んでの思い出話や近況報告で盛り上がりました。新成人たちは、久しぶりに会う友人に「元気になっている」「今、どこで何をしているの」「などと声をかけたり、写真を撮り合いながら、今も昔と変わらない笑顔に幼いころの思い出を重ね合わせていました。



町民憲章を朗読する新成人